



は、大い機年と上のあ大つ荷大れ、く係地
競式事気応、の値つ、者分、水の者御春
り典「持変経て全上たー代魚開産方や国売の
人終とちに済は面げ、方ではし社のは加議場
ら了述を対全厳輸、中で、は、て長足5し員で
の後べ持応、がい停国、日、初中ら立時。県、
威はた。て発激1止へ燃本初中ら立時。県、
勢セの行展変年な、の油人の根組換也から、
良が行動さすど、産高手性合摺市から、
い行しせて時た。漁水騰の総長したや典、
響いてくの丙経物最躍のあの上、
いこよ波午營の低な誕い、
たとうにに事賃ど生さ、
にが強臨今、実金がや、

令和8年 初競り 大分市公設地方卸売市場

JF大分

水産おおいた

2026年
2月

186号

発行元
大分県漁協

<http://www.if-oita.or.jp/>



ほ健てが知いルい要に合に売漁軟た。へり環、行同
し康取一恵案管て。取理進なに。ん、境中、の5
「理組の出にを常当組と、各良応うし協変組。事、
とにんチし、いらスこの営織事な少変況営どが、
訓もでー、所て、ジ務が健業をよし化とな、
示留ほム所は、部皆難ユに重全務着うで、
し意しとな、署でし、
て。

水産会館 仕事始め式

美人小屋復活セレモニー 3年ぶりにカキ小屋オープン

18日、中津市小祝漁港において、3年ぶりに美人小屋のオープンセレモニーが行われた。

式では主催者を代表し、中根組合長が挨拶、「生産者の努力と関係者の協力により今日オープンを迎えた。ひがた美人のおいしさや魅力を広く発信していただきたい」。

来賓の奥塚正則中津市長が「ひがた美人は東京などで高い評価を受けている。ブランドの価値を広く発信したい」と挨拶。

生産者代表の田中浩二中津地区漁業運営委員長が「過去2年間は、土砂の流入による斃死と高水温による成長不良などで生産量が減り、苦しい時期もあったが、おいしいカキを届けたいという想いで、種苗の見直しや飼育方法の改善などに取り組んできた。生産量のさらなる拡大を目指して頑張っていきたい」とPRした。

その後、蒸しカキなど4品を試食した。参加者から「身が大きく、ふっくらとして味も濃厚で申し分ない」など好評であった。

カキ小屋は2月末までオープンし、生産量は30万個を目指している。



3体協 名催ン礼体農
4のの水がさド会の林6
名幹役産参れ、ホが新漁日
が部員、関加、テレ年業
参職、係し1ルン合関大
員各はた。7でブ同係分
ら団漁 3開ラ互団県

農林漁業関係 新年互例会



と歳賢 し長嶋を藤長会て
な三治最歓の幸い知がの森団
唱副後談音一た事挨井林体
たで知にし頭県だか摺上組を
お事、たで議いらし明合代
開の尾。乾会た。祝、夫連表
き万野 杯議。辞佐合し

「漁船無事故チャレンジ100in大分2025」 無事故認定証授与式

大分県海難防止強調運動推進連絡会(委員長:中根組合長)は、27日、水産会館において無事故認定証の授与式を開催した。

今回は10/1～1/8までの100日間に実施され、県や海上保安部と連携し、組合員に無事故徹底を周知した。その結果、海難が1件発生したものの、計26の支店及び取次店で事故0を達成した。

式では、中根委員長が「26の支店、取次店で事故0を達成できたのは関係者の努力によるもの。漁協としてもこの運動を推進し、今後も海難0を目指す」と挨拶。

県大塚猛農林水産部審議監兼漁業管理課長が「安全操業は安心・安全な水産物の供給という役割を果たしている。県もそれによりもたらされる多彩な本県水産物の販売促進と消費拡大に力を注いでいく」と挨拶したのち、大分海上保安部の児玉徹部長から鶴見支店(磯部支店長)と大分支店(西田支店長)に無事故認定証が授与された。



いい気が 苦追者本が計
温猛イ労わは店連検 1
(ごの威ン様れ準、続査、月
大)自上をフでて備支し、後
愛下ふルすいや店て常半
くもるエ。た対のあ例か
だ激イン。応担り、検
さし、ザ ごに当、査会

編集後記